

歪む教育改革

来年（2005 年）4 月から使用する小学校教科書の検定が終了したそうです。3 年前に削減した内容を「発展的な学習」として大幅に復活させるようです。これらは指導要領範囲外であるため、教科書には載っていてもすべての生徒に教えるわけではないとのことです。

しかし週 5 日制は変わらないわけですから、それらを指導する時間はどこから捻り出せばよいのでしょうか。前回の改訂で内容を 3 割削減したから、週 5 日制になったわけです。ただ教科書に載せても「時間」がなければ、結局教えることはできないのではないのでしょうか。

しかしこの「教科書に載っている」という事実は多くの人を悩ませてしまいます。

生徒や保護者にしてみれば、他の学校で教える内容を自分たちは教えてもらえるのかという不安をもったり、習わない場合に将来入試で不利にならないかと心配したりするでしょう。

先生方にしてみれば、教えるための絶対的な時間がないわけですから、何とか教えようと思えば、進度を速めて時間を作り出すことが必要となります。そうすると「ゆとり教育」でじっくり身につけるはずだった生徒を結局はふるい落としとしていくことになるだけです。

では、「発展的な学習」は教えないという決断を先生が簡単にできるかということ、先にあげた不安からの保護者の要望があるため、それもまた難しいと思います。最悪の場合、教師としての指導力を疑われることにさえなりかねません。

学校側に取れる解決策としては能力別クラス編成であり、クラスごとに進度を変えるしかないでしょう。一部の学校ではすでに採用されているようですが、「平等に扱って欲しい」と望む生徒や保護者の説得は容易ではないでしょう。

以上のように、今回復活する「発展的な学習」を学校で完全実施することは困難なのです。文科省が学習塾を認めたことで、この内容を塾で教えて欲しいと願っているとは思いますが、塾に通っていないととても十分な内容の理解は実際難しいと言えるでしょう。

塾にとってみれば「追い風」かもしれません。それでもこの方針変更には、なぜか釈然としない思いが残ります。

‘03 年度塾生通知表評定平均

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技術	9科目計
卒塾生	4.7	4.7	4.1	4.5	4.6	22.6	4.0	4.0	4.5	4.2	39.3
新中3	4.8	4.9	4.3	4.5	4.5	23.0	4.3	3.8	3.9	4.0	39.1
新中2	5.0	5.0	4.0	4.8	4.3	23.0	4.5	4.0	4.0	3.8	39.3

5 科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	81	85	31	62	58
4	15	15	58	31	35
3	4	0	12	8	8
2	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0

9 科目合計内申点割合 (%)

	‘03 年度	‘02 年度	‘01 年度
40～45	54	28	41
36～39	35	47	29
32～35	4	16	21
27～31	8	9	6
9～26	0	0	3